

- 本学は、『「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うこと』を基本理念とし、2001年に開学しました。
- 環境学部、経営学部、大学院環境経営研究科修士課程があり、学生数は約1,300人（約8割が県外出身）です。
- 基本理念の実現に向けて様々な取組を行っています。

## ■カーボンニュートラル（脱炭素）

- 鳥取市脱炭素先行地域へ参画（2023,4環境省認定）  
・目標 2030までに電力由来のCO2ゼロ
- Race to Zero※へ参加、CO2削減目標設定（2023,8）

項目	2022実績	2024実績	2030目標	2050目標
Scope 1+2	1,107 t	1,075 t	620 t 2022比▲44% 2013比▲60%	実質ゼロ
Scope 3	1,756 t	2,138 t	1,405 t 2022比▲20%	

※Race to Zeroは、国連が主催するCO2削減の国際キャンペーン。国内大学としては、千葉商科大学、東京大学に次いで参加。

### ●主な取組

照明LED化（～2025）、太陽光発電導入（～2026）、空調熱源電化（～2028）、建物（一部）のZEB化（～2028）、再エネ電気購入（2025）

## ■サーキュラーエコノミー（循環経済）

- マイボトル運動、ウォーターサーバーを設置（2024,7～）
- 紙コップ、紙パックをアップリサイクル【紙糸タオル】（×日本紙通商(株)、2024,7）
- エコ容器のデザイン（×(株)コパックス、2025,10）



ウォーターサーバー設置



学生考案ハロパック※

## ■ネイチャーポジティブ（自然再興）

- 自然共生サイト（30by30）の認定、管理に協力  
・八頭船岡環境保全エリア（2023年度前期認定）  
・八東ふるりの森（2024年度後期認定）
- 学内にビオトープを整備（2024年度）



八東ふるりの森



学内ビオトープ見学会（2025,9）

※ハロパック® (HaloPack®) は、環境に優しい紙製トレイと高機能バリアフィルムを融合させた新しいエコパッケージです。従来のプラスチックトレイと比べて最大90%のプラスチック使用量削減が可能で、環境保護に貢献します。

## ■県内企業と連携して新商品を試作・販売 （竹内ゼミ×(株)サンマート）



わんぱくおにぎり（2025,4）



シカじゃぶ丼（2025,9）



# SDGs共創プロジェクトの概要

- 大学の基本理念とSDGsの考え方が一致するため、教育、研究でSDGsに取り組んでいます。
- 2021年度から、学生のゼミ活動を中心に、企業等のSDGs課題の解決に取り組み始めました。
- 鳥取商工会議所工業部会（2021～）、鳥取県（商工政策課、2024～）、大学の3者が連携して取組を支援しています。

## 取組状況

取組年度	企業名	SDGs課題	対応ゼミ等
2021	(株)松田安鐵工	鑄造時にでる廃砂の処理及び活用方法	金ゼミ
2021-2023	マルサンアイ鳥取(株)	豆乳製造時にでる「おから」の活用方法	金ゼミ、門木ゼミ
2022	(株)LIMNO	ものづくりを通じたSDGsへの貢献	学生有志
2023-2024	(株)アサヒメッキ	メッキ排水の再生利用技術	門木ゼミ
2024	(一社)日本ドローン海岸漂着ごみ回収事業推進協会 (株)skyer、北溟産業(有)	衛星データとドローンによる海岸漂着ごみ対策	佐川ゼミ
2024	(株)エコ・ファーム鳥取	100%天然由来 刈草堆肥のブランド化・販路開拓	学生EMS委員会
2021～	菌興椎茸協同組合	生分解性素材（天然ゴム、生分解性プラスチック）による椎茸種菌の保護蓋の開発	金ゼミ、門木ゼミ
2024～	美保テクノス(株)	建設業におけるCO2排出量算出モデルの構築（Scope2把握、建設現場の削減策）	門木ゼミ
2024～	大同端子製造(株)	AIを活用した工場内の電力消費量の可視化	堀ゼミ
2025	(株)美染	カラー剤アルミチューブ容器のリサイクル活動等の拡大	金ゼミ

赤枠は、2025年度実施プロジェクト

### 生分解性素材による椎茸種菌の保護蓋の開発



大学の裏山でフィールドテスト



生分解性プラスチックを使って開発した保護蓋

### 建設業におけるCO2排出量算出モデルの構築



重機の省エネ運転のため稼働状況を確認

### AIを活用した工場内の電力消費量の可視化



工場内へのセンサー設置、データ回収

### カラー剤アルミチューブ容器のリサイクル活動等の拡大



廃棄されたカラー剤アルミチューブ

公立鳥取環境大学は、SDGs課題の解決に取り組んでいます。各種お問い合わせ、ご相談を随時お受けしています。

【担当】 公立鳥取環境大学研究交流推進課 SDGsコーディネーター 吉田

【連絡先】 〒689-1111 鳥取市若葉台北1-1-1、電話：0857-38-6704、E-mail：kouryu@kankyo-u.ac.jp